令和7年

二十歳の成人式

PHOTO REPORT

1月12日、二十歳の成人式が図書館ホールで開催されました。当日は377人が参加。参加者は友人との再会を喜びながら、お世話になった人への感謝を胸に、新たな未来へ一歩踏み出しました。

1友人との久しぶりの再会に笑顔を浮かべる参加者　2アトラクションに恩師が登場し笑いに包まれた　3 4 7 9晴れ着やスーツを着た参加者　5友人と記念撮影　6町からの記念品を受け取る参加者代表　8アトラクションの抽選会では豪華賞品やプロ野球選手のサインなどが並んだ　10アトラクションのカラオケ大会では恩師も歌を披露した

二十歳の成人の誓い

会場にいた参加者に、夢や抱負を聞きました。

●菊陽中出身
●武蔵ケ丘中出身

●吉岡　恵里依（よしおか　えりい）さん

台湾の大学に在学中です。熊本の良さや日本の素敵なところを広める懸け橋になりたい。

●菊池　陵摩（きくち　りょうま）さん

町内半導体関連企業へ就職予定です。お世話になった人へ感謝し、恩返しがしたい！

●野田　夏鈴（のだ　かりん）さん

4月から学校事務の職員として、子どもたちや先生が安心して生活できるよう頑張ります。

●猪股　駿（いのまた　はやと）さん

大学の経済学部に在籍しています。就職に向けて資格取得を頑張っています！

●鳥栖　明日香（とす　あすか）さん

専門学校に通っています。歯科衛生士になるために、勉強を頑張っています！

二十歳の主張（一部抜粋）

金子　千夏（かねこ　ちなつ）さん
菊陽中出身

二十歳を迎えた皆さんは、幼い頃の夢を覚えていますか。また、その夢を実現した人はどのくらいいるでしょうか。

私は、陸上自衛官である父の背中を見て育ち、憧れを持っていました。その気持ちは変わらず高校3年生になり、自衛隊を目指す仲間と勉強や面接練習に励み、試験に臨みました。しかし、その夢は叶えることができませんでした。4月から進学する友人や、働く友人がいる中で、自分だけ進路が決まらず、不安な気持ちがあふれどうすることもできず、これまでにない挫折を味わいました。

そんなある日、母が「菊陽町の公募を受けてみたら？」と声をかけてくれました。私は、給食調理員の会計年度任用職員として採用が決まり、今の仕事に至ります。私にこの仕事が本当に向いているのかと不安な気持ちで就任式を迎え、金子先生という聞き慣れない呼び名で呼ばれながらも、必死で仕事と向き合ってきました。今では、周りの先生方にも頼りになると言われるようになり、自信を持って働くことができています。

その中で、正規職員である先生方の背中を見て、私も正規職員になって、菊陽町の子どもたちがワクワクするような給食を届けたいと考えるようになりました。そのため、私は現在、調理師の資格を取るため勉強に励んでいます。給食というかたちで子どもたちの健康を支え、菊陽町に貢献できるよう努力していきます。